

2018年6月12日

PRESS RELEASE



独立行政法人国際協力機構

□ 内容についてのお問い合わせ

独立行政法人国際協力機構（JICA）

沖縄国際センター

市民参加協力課・担当者名 宮園 直子

TEL：098-876-6000 FAX：098-876-6014

<http://www.jica.go.jp/okinawa/index.html>

沖縄の亜熱帯果樹栽培管理、病害虫防除技術を JICA研修員が県立農業大学校で学ぶ

6月18日（月）に「農産物を輸出するための実践的植物検疫技術（ミバエ類殺虫技術）」コースの研修員6名（スリランカ、タイ、フィリピン、ベトナム、マレーシア、ラオス）が県立農業大学校にて学生との交流を通じ、沖縄特有の亜熱帯果樹栽培管理および病害虫防除技術を学びます。

研修員6名はそれぞれの国で植物防疫／検疫を担当し、農産物に寄生する病害虫対策に取り組んでいます。かつて沖縄でもミバエ類の侵入により柑橘類やウリ類に大きな被害が発生し、関係者の長い歳月にわたる絶え間ない努力により、その根絶防除に成功しました。しかし、現在でも海外からのミバエ侵入防止のため、トラップ設置や赴任虫放飼が行われています。

沖縄での技術研修では、農林水産省那覇植物防疫事務所の協力により、果実に産卵するミバエ類等の病害虫の殺虫技術を学び、帰国後沖縄で得た技術や知識を参考に、自国で生産された熱帯果樹の国際市場への輸出拡大を目指します。詳細は下記の通りです。

記

日時： 2018年6月18日（月）14：00～16：00

場所： 沖縄県立農業大学校

スケジュール：14：00～14：30 講義受講

14：30～16：00 野菜・果樹（マンゴー）栽培見学

以上